

かけはし

K A K E H A S H I

今号裏面は、
「新しい年度を迎えて」です医療福祉支援センター長
安田 日出夫

ご挨拶

皆様、初めまして。2022年4月より医療福祉支援センター長を拝命されました安田日出夫と申します。私は、これまで腎臓内科医として診療、研究及び教育に従事してまいりました。腎臓内科の領域では、生活習慣病としての慢性腎臓病に対する病診連携を促進することが重要課題とされ、日本腎臓病協会が発足し、腎臓病療養指導士の育成を進めています。さらに浜松市では糖尿病性腎症重症化予防プログラムを2021年度より策定し、行政、医師会、歯科医師会、栄養士会、薬剤師会を含めた多職種での対策を強化しているところです。これらの活動を通して、多職種との連携から生まれるシナジーやエネルギーを実感するとともに、「相談」や「支援」することによって救われる住民の方々が多くいらっしゃることを感じました。このように医療現場では治療管理だけでなく「相談」や「支援」が重要であることを実感していたところ、小林利彦先生に声をおかけ頂き、令和4年1月より医療福祉支援センターに兼務するようになりました。小林利彦先生をはじめ、現場スタッフの皆様に暖かく迎えて頂きこの場をお借りして改めて感謝申し上げます。

医療福祉支援センターは、2003年に患者さん、家族に対する総合的な医療・福祉相談等のサービスを行う部署として開設されました。小林利彦先生が2006年に副センター長、2010年にセンター長に就任されてからは、患者相談窓口、がん相談支援センター、難病医療相談室、肝疾患連携相談室、脳卒中相談窓口、地域連携室が1つの部屋で業務を行うようになりました。文字通り支援の連携をスムーズにできるよう、働きやすい環境を整備頂きました。この間、病院の再整備計画、電子カルテ導入、先端医療センター（aMec）開設などの院内の様々なイベントに対しても迅速に対応して医療福祉支援センターを先導頂きました。こんにちの医療福祉支援センターを築かれた小林利彦先生の後任を仰せつかり、重圧を感じつつも自分のやるべきことをしっかり務めようと心新たにしております。今年度の大学病院では、ハイケアユニットが開設されるとともに病棟が再編され、時間外の当直・オンコール体制も変革されます。このような大学病院の変革にも柔軟に対応し、お役に立てるように協力していきたいと思っております。

引き続き、皆様からのご指導、ご支援を頂きますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

医療福祉支援センター長 安田 日出夫